地域間競争を勝ち抜く 八代市

熊本県南部の八代市は2011年3月に、九州新幹線が全線開業し、新八代駅がある同市には関西からの人の流れが増加中だ。市は県内随一の貨物取扱港である八代港や豊富な農産物などを生かし、クルーズ船誘致や観光振興などさまざまな戦略を打ち出している。

整備が進む八代港

八代市に寄港したクルーズ船「飛鳥Ⅱ」

八代港は10年8月に国から重点港湾に選定された。12年度中に水深14メートルの第1バースの工事が完成予定だ。これにより従来よりも大型の5万500トン級の船舶が着岸できるようになる。今後は第2バースの着工などを推進して中九州地域のバルク貨物集積拠点として港湾利用型企業の進出を促進する。

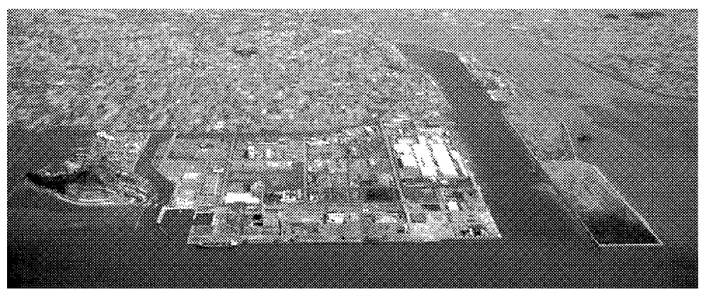
八代港は熊本県内最大の貿易港で、輸出入額の44・6％を占める。11年の実入りコンテナ取扱量は約6000TEU（20フィートコンテナ換算）だった。現在、月曜日と金曜日の週2回、国際コンテナ定期航路が韓国の釜山港まで運航されている。08年からは小口混載貨物の取り扱いも始まり、1コンテナに満たない荷物でも世界350カ所に直接輸出できるようになった。小口混載によって博多港や神戸港を利用していた県内の荷主は、輸送期間の短縮やコスト削減が可能になる。

11年4月からは市独自に「コンテナ利用助成制度」をスタートさせた。新規に港を利用する荷主企業に対して、20フィートコンテナ一本当たり1万円を、継続利用に対しては同5000円を助成。さらに12年度から継続利用者への助成を新規と同額の同1万円に増額した。県と合わせた助成金額は新規利用企業の場合40フィートコンテナ一本当たり4万円、20フィートコンテナ一本当たり2万円となる。

今後は既存航路の増便と新たに中国や台湾など東アジアの航路開設を促進させて、将来は実入りコンテナ1万TEUを目指す。

港の振興のためのクルーズ船誘致活動も活発。11年度は日本の大型クルーズ客船「ぱしふぃっくびいなす」「飛鳥Ⅱ」「ふじ丸」「にっぽん丸」の4隻が八代港を利用した。12年度は5月に「ふじ丸」が入港、10月にも「飛鳥Ⅱ」の利用が決定した。中でも今年度は地中海クルーズで有名な「コスタビクトリア」が入港する。10月20日に開催される「やつしろ全国花火競技大会」に合わせて約2400人の中国人観光客が八代を訪れる予定で、観光やショッピングなどで経済効果が見込まれる。

三つの戦略を展開


熊本一の取扱量を誇る八代港

八代市は観光や経済などの地域間競争に打ち勝つため「外に向かって打って出る」という新たな指針を打ち出し、実践するための三つの戦略を展開。第1は「地の利を活かした八代振興」。九州自動車道や新幹線の新八代駅、重点港湾の八代港など交通の要衝であることを生かしていく。またイグサ、トマト、メロン、ショウガ、お茶のほか特産であるかんきつ類の晩白柚（ばんぺいゆ）を産み出す豊かな水と大地を活用する。第2は「八代から全国に向けた魅力発信」。大都市圏で農産物をPRする。現在、東京都板橋区の「とれたて村」や同千代田区の「熊本やつしろ食堂」で農産物やそれを使った食を提供している。スポーツ合宿や全国大会などを誘致して、スポーツによる街づくりも推進していく予定だ。第3は「八代港の港湾力強化」。第1バースの完成と第2バース工事の実現を目指す。合わせてクルーズ船をさらに誘致して観光客の増加を促進する。

八代市は12年度、新たに「八代ブランド営業本部」を立ち上げた。これは三つの戦略を実践するため商工、観光、物産、港湾、農業、文化、スポーツなど部署間の垣根を越えた組織。さらに東京、大阪、福岡など広域の活動で連携できるようにしたものだ。活動を統括する営業本部長を配置し、八代のPRと営業活動を効率的かつ積極的に行っていく。

横場工業（熊本県八代市、江崎拓茂社長、0965・31・3200）は、プラントメーカー。製鉄所や焼却施設などで使われる装置のほか小麦を貯蔵するサイロなど大型の産業用容器が得意。最も大きな製品は縦、横、高さがそれぞれ10メートル、重さは70トンにも及ぶ。

同社の売りは「3点セット」と呼んでいる専用岸壁、酸洗浄廃水処理設備、ショットブラスト工場の三設備。特に専用岸壁は、工場が港に接しているという立地条件を生かして船と工場間の物資を専用クレーンで直接出し入れできる。一度で大量に運べるため移動時間の短縮が可能だ。また車で運べない大型製品を分割せずに客先に納めることで品質の安定にも役立っている。

酸洗浄廃水処理設備はステンレス製品の洗浄廃水を処理するものだ。ショットブラストは鉄製品の表面のさびなどを落とす下地処理。屋内で作業することで天候の影響による作業の遅れをなくすと同時に周辺への鉄粉の飛散を防いでいる。

同社が現在最も力を入れているのがコスト削減と品質の向上。江崎社長は「コストと品質は車の両輪。両方の課題に取り組んで競争力を高めていく。できることはまだまだある」という。

横場工業の本社工場

熊本県八代市長 福島 和敏（ふくしま かずとし）氏に聞く

垣根超えた営業を

熊本県八代市の福島和敏市長が地域間競争を勝ち抜くために新たな戦略を打ち出した。「外に向かって打って出る」と新指針を掲げ、積極的に活動を繰り広げている。就任3年目を迎えようとする福島市長に現状と今後を聞いた。

―市の現状はいかがですか。

「2011年3月の九州新幹線全線開業から1年余りが経過して関西方面などからの観光客が増えている。12年4月に熊本市が政令指定都市に移行した。県全体のことを考えると県南地域の振興を進める必要がある」

―新指針を実践する戦略を聞かせて下さい。

「第1は『地の利を活かした八代振興』。新幹線や高速道路など恵まれた交通アクセス、また八代港を利用し、九州の中心としての利便性を生かした産業振興と交流人口の増加による活性化を図る。第2は『八代から全国に向けた魅力発信』で首都圏など大都市でイグサ、トマト、メロンなどの特産品を広くPRし、販路拡大につなげる。また全国大会や合宿などスポーツによる街づくりも計画している。第3は『八代港の港湾力強化』。10年に重点港湾に選定された八代港を活用していく。12年度中には5万5000トン岸壁が完成する予定だ」

―ブランド営業本部を立ち上げました。

「商工、観光、物産、港湾、農業、文化、スポーツなど部署間の垣根を越えた実践部署だ。営業本部長を配置し営業活動やPRを積極的に行っていく」

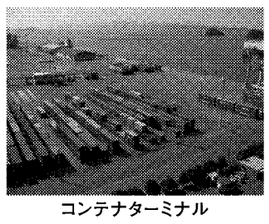
―八代港へのクルーズ船誘致も活発です。

「10月に行われる『やつしろ全国花火競技大会』に県内初となるクルーズ船の入港が決定している。約2400人の中国人観光客が訪れる予定だ。大型クルーズ船のさらなる誘致や東アジアの新航路開拓を進める」

―今後の抱負をお願いします。

「県と連携して新たな工業団地の整備や食品、バイオ企業の集積を目指す『フードバレー構想』などを推進していきたい。また人とモノの流れを生み出すイベントなどで県南部地域全体を活性化していきたいと思っている」

九州を支える重点港湾！「八代港」


コンテナターミナル

大型クルーズ客船寄港

バルク貨物船入港

（八代港港湾振興協会）
当協会は、77の企業・団体と20の海事関係行政機関で組織されており、要望活動、港利用促進のためのポートセールス活動、大型クルーズ客船の寄港誘致活動、八代港を身近に感じてもらうためのイベントの開催など、地域に愛される八代港づくりに取り組んでいます。

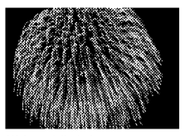
八代港港湾振興協会 PORT OF YATSUSHIRO
事務局／熊本県八代市重点港湾八代港営業隊
〒866-8601 熊本県八代市松江城町1-25　TEL／FAX 0965-43-7855
HP http://www.yport.jp/　E-mail info@yport.jp

熊本のモノづくりを応援します。
日刊工業新聞社 熊本支局

八代の観光情報発信基地「八代よかとこ宣伝隊」

5月 九州国際スリーデーマーチ
世界各国からウォーカーが集結。日本三急流の一つである球磨川や、火の国発祥となった清流氷川に育まれる八代市・氷川町を舞台に自然と楽しむコースを設定した「歩く祭典」

10月 やつしろ全国花火競技大会
全国30業者100名の花火師の技の競演。九州各地からバスツアーも企画され、去年は28万人の観光客が10月の花火に魅了されました。本年は10月の第3土曜日に開催されます。



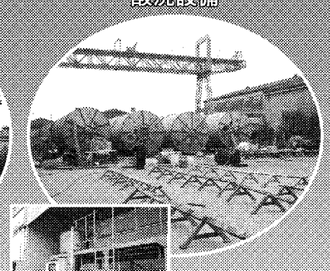
11月 九州三大祭 八代妙見祭
370年続くこの祭りは亀蛇が舞い、神馬が跳ねる。絢爛豪華な時代絵巻。国指定重要無形民俗文化財になっている格式ある神幸行列と勇壮な演舞は、まさに静と動の極致。

〒866-0824 熊本県八代市上日置町4772-10新八代駅内
TEL（0965）31-8200　FAX（0965）32-2334
八代よかとこ宣伝隊ホームページ http://www.yokatoko.info/

工場から直接“海”を越え“陸”を駆けてお客様の元へお届けします

<海陸輸送3点セットが揃った大型製缶工場>

ブラスト設備


酸洗設備

自社専用岸壁

台船出荷

本船出荷

横場工業株式会社　熊本県八代市新港町1-6　TEL 0965-31-3200
http://www.yokoba.co.jp

平成24年度 八代港 コンテナ輸送に関する助成事業のご案内
八代港のご利用をお願いします

Ⅰ国際コンテナ利用拡大助成事業

助成の概要
八代港のコンテナ取扱量の増加に向け、熊本県及び八代市からの補助金を活用し、八代港国際コンテナ定期航路を利用された荷主企業に対して助成を行います。

助成メニュー
①新規利用企業に対する助成事業
平成23年度に熊本県内港を利用したことがない荷主企業に対して、1TEUあたり2万円を助成します。
②継続利用企業に対する助成事業
平成23年度に熊本県内港を利用したことがある荷主企業に対して、1TEUあたり1万5千円を助成します。

ご利用にあたって
●この事業は、平成24年4月1日～平成25年3月31日の期間、八代港を利用した場合に適用されます。
●予算の範囲内での助成となりますので、全額は助成されないこともあります。
●国内貨物利用は除きます。
●1荷主あたりの上限額の設定がなく、すべての実入りコンテナが対象です。
●1TEUとは20フィートコンテナ換算の単位です。40フィートコンテナの場合2TEUとなるため、1本あたり新規利用で4万円、継続利用で3万円の助成となります。

八代港から世界へ。
八代港―釜山港コンテナ国際航路で広がるアジアへ、そして世界へ。

金曜運航 八代港→釜山港
八代港(金)→三池(金)→釜山(土・日)→三池(月)→薩摩川内(火)→釜山(水)→薩摩川内(木)→八代港(金)
●船会社／興亜海運株式会社(HUNG-A LINE)
●日本総代理店／三栄海運株式会社
●船舶代理店／八代港運株式会社 TEL.0965-37-3111

月曜運航 八代港⇨釜山港
八代港(月)⇨長崎(火)⇨釜山(水)⇨瀬戸内海地方(木・金)⇨伊万里(土)⇨釜山(日)⇨熊本港(月)⇨八代港(月)
●船会社／高麗海運株式会社(KMTC LINE)
●日本総代理店／高麗海運ジャパン株式会社
●船舶代理店／日本通運株式会社 TEL.0965-37-0011
※「八代港・釜山港」の掲げ積みに関しては、設備配船の取扱を行っています。

Ⅱ長距離輸送利用企業に対する助成
北米、中南米、欧州、豪州及びアフリカ大陸間の輸出入に際し、初めて八代港を利用した荷主企業に対し、1TEUあたり1万円を助成します。（ただし、1荷主あたり30万円を上限とします。）
※「Ⅰ八代港国際コンテナ利用拡大助成事業」との重複申請可

コンテナ輸出入に関するご用命は
㈱曙組 TEL 0965-37-1355
九州紙運輸㈱八代営業所 TEL 0965-46-5220
パシフィックグレーンセンター㈱八代支店 TEL 0965-37-3241
八代港運㈱ TEL 0965-37-3111
㈱上組八代支店 TEL 0965-37-3565
日本通運㈱八代支店 TEL 0965-37-0011
松木運輸㈱ TEL 0965-37-1101
（順不同）

お問い合わせ先
八代港ポートセールス協議会事務局（熊本県企業立地課ポートセールス推進内）〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
TEL 096-333-2514　FAX 096-333-5797　URL http://www.f2.dion.ne.jp/~yat-port/